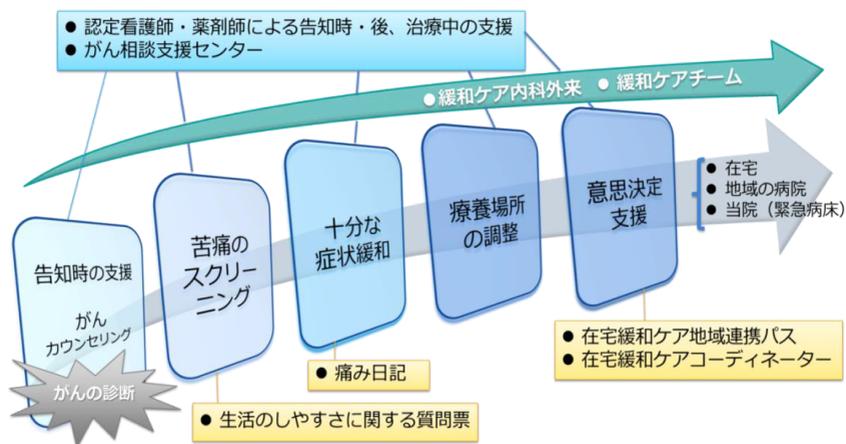


症状の緩和だけでなく、 患者さんやご家族が抱えている 様々な問題への支援を行っています

「いつでもどこでもどんな人にも、切れ目のない緩和ケアを」

緩和ケアは「重い病を抱える患者さんやその家族の心や体のつらさを和らげより豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア」と位置づけられ、近年では緩和ケアをより早期から導入する動きが進んでいます。

当院では、患者さんの苦痛をいち早く把握するため各診療科でスクリーニングを行い、必要な方にしかるべきタイミングで緩和ケアを提供できるよう努めております。カウンセリングなどの基本的緩和ケアに始まり、専門的緩和ケアが必要な方には多職種で構成される「緩和ケアチーム」が中心となって支援を行っています。さらに、患者さんにご家族のニーズに応じた治療・療養環境を選択し、切れ目のない緩和ケアが提供できるよう地域との連携を進めています。



「病態や個性に合わせたオーダーメイドの緩和医療」

現在本邦でがん性疼痛に使用できる主要なオピオイドは6種類あり、剤型も多様です。痛み以外の症状緩和薬についても近年様々なエビデンスが加わり、患者さんのニーズに即して最適な薬剤・剤型を選択しオーダーメイドの症状コントロールを行うことが可能となってきております。

「診療実績」

2020 年度	
苦痛のスクリーニング件数	14283 件
がんカウンセリング件数	817 件
外来新規患者数	24 名（院内紹介のみ*）
緩和ケアチーム介入患者数	98 名（うち非がん疾患：6 名）

「新病院に向けた新たな患者像」

がん治療が入院から外来にシフトしており、通院治療と並行して緩和ケアを受ける患者が増加しています。また、在宅医療の推進に伴い、在宅での緩和ケアのニーズも増しております。在宅医療を担っておられる地域の医療機関との連携を深め、がん治療の拠点病院としてともに患者さんを支える診療をこころがけて参ります。

広島市立北部医療センター
安佐市民病院

緩和ケア内科 外来医師

たなか ひろゆき 田中 裕之 (S62卒)	副院長 麻酔科部長 集中治療部部長 [心臓麻酔・小児麻酔・小児集中治療・P ⁺ インテリック・緩和ケア]
えらび ひさゆき 撰 尚之 (H卒)	精神科主任部長
やまきた いちこ 山北 伊知子 (H18卒)	がんゲノム診療科副部長 [がんゲノム外来担当・腫瘍内科] (兼) 腫瘍内科副部長

広島市立北部医療センター
安佐市民病院

緩和ケア内科 外来診療案内

	月	火	水	木	金
AM		山北		山北	田中
PM	向田	山北	撰		

* 現在、緩和ケア外来での診療は当院でがん治療を行う患者のみとさせていただきます。